

今任期も残すは1年間。迫る「14人議会」に対して準備を進めています。議会運営委員会から部分答申として示された「常任委員会」の再編。また、広聴活動の充実（P2-5参照）を柱に、より身近で「開かれた議会」に向けたチャレンジとアクションは続きます。

諮問に対する部分答申 常任委員会を3から2に再編！



部分答申文は
こちらから

常任委員会の機能維持と活発かつ多様性に配慮した議論を確保するため「2常任委員会」にすることが妥当との答申。総務と経済建設を統合した「総務経済建設」及び「厚生文教」に再編し、定数はいずれも7人を想定。現行の所管事務を引き継ぐこととしています。



14人議会に向けた議論は続きます

ポロシャツ議会の開催 「こどもまんなか」を全力で発信！

昨年の9月定例会以来、2回目となる「ポロシャツ議会」を開催しました。

この取組は、クール・ビズによる環境への配慮をはじめ、議会を「より身近で親しみやすい存在」として感じてもらいたいとの想いから実施したものです。また「こどもまんなか応援サポーター」のロゴを配した揃いのポロシャツを着用し、その理念を広く発信しました。



次代を担う子どもたちを全力応援

七夕まつりの竹飾り 和紙の普及宣伝に！

全議員で分担し、くす玉の花折りをはじめ、今年も竹飾りの制作に励みました。七夕まつり当日は、猛暑の中で汗だくになりながらの飾りつけ。議会は「和紙のふるさと小川町」のPRに本気です！



“カラー”が映えるくす玉作り

“400”の願いを込めた竹飾り

次ページは「常任委員会報告」

食事支援



たなかたつお
田中立男 議員
が町に問う！

夏休みの子どもへの支援はもへの支援は

答弁 こども食堂が年間を通じて活動しています

Q 町内のこども食堂の実態と町の支援状況は。

A 子育て支援課長 町内で7団体が活動し、利用者は1食堂当たり約20人から30人です。当町の支援として、各食堂で作成するチラシや活動報告を町ホームページに掲載し、周知に努めています。

Q 愛知県および市では、夏休み期間中にこども食堂を提供する取組を開始した。当町としても対策が必要ではないか。

A 子育て支援課長 みよし市の取組は大変意義深い施策です。町内のこども食堂は年間を通じて活動をし、夏休み期間中も含めた食事提供の場として機能しています。当町の支援活動は、こども食堂の情報提供や周知の工夫をさらに進めます。次に、県や町の社協と連



こども食堂での食事は楽しいね！

和紙の展示室に説明員を

携を強化し、生活困窮世帯の情報把握と支援制度の活用促進に努めます。

Q 道の駅にある展示室に土日だけでも説明員を配置できないか。

A にぎわい創出課長 指定管理者とともに検討していきたいと考えます。

業務効率化



たばたよしなり
田端良成 議員
が町に問う！

自治体DX重点取組事項は

答弁 eL-QRとAIを導入済みです

Q 国が示す自治体DX重点取組事項に公金収納におけるeL-QRがあるが、対応しているか。

A 政策推進課長 eL-QRを令和5年5月発行の納付書から対応しています。現時点では、税収納のみの対応となっていますが、今後、介護保険料、後期高齢者医療保険料等の公金に対応できるよう担当課と検討しています。

Q AI利用推進も重点項目にあるが、導入しているか。

A 政策推進課長 生成AIの活用状況は、音声テキスト化システムほか、自治体専用の汎用生成AIシステムを導入しています。これらのシステムにより、業務の効率化と職員の負担軽減に向けて取り組んでいるところです。



eL-QRでキャッシュレス納付

A 政策推進課長 個人情報や機密情報に関するセキュリティ上の課題があるので、職員向けの研修と生成AIの利用に関するガイドラインを整備します。現在職員が適切に活用できるよう環境を整えているところです。今後は生成AIの導入によって生まれた時間や資源を、住民サービス向上等に還元していきたいと考えています。

何事も積極的に取り入れて、毎日少しずつ成長していけるよう頑張りたいです。(Y・Nさん)

窓口・電話対応などで分かりやすい説明ができるように心がけています。(S・Yさん)